

2018/07/31

第4期（2018-19年度）幹事会

第2回会議議事録（作成者：近藤和都）

出席者（敬称略）：井上（前幹事）、岩崎、辛島、近藤、田中、藤田、村田、毛利

（1）前幹事会からの申し送り事項

伊藤前代表幹事より、今期幹事会に対しての申し送り事項が提議された（井上前幹事の代読）。特に、下記の点が重要であるという認識が共有された。

- 会員サービス：
 - i. 会員自身が会費納入状況等を確認できるシステムを導入し、円滑な会員管理を促進する。
 - ii. 若手会員向けの研究会を関東・関西で継続的に行う。
 - iii. 幹事会・総会等の議事録を作成し、HPやニューズレター等で周知する。
- 幹事会を継続的に円滑に運営するために、前期幹事会が作成した年間スケジュール表等も利用して、各担当幹事の役割・業務等をマニュアル化する。
- 財政：
 - i. 学会誌発行にあたって利用可能な助成金（学振）に申請し、資金を確保する。
 - ii. カルタイ運営等において今後も健全財政の維持につとめる。
- 大会運営
 - i. 特に海外からの報告予定者に「無断キャンセル」がみられた。プログラムに氏名が記載されているため、「実績作り」に悪用されている可能性がある。今後の大会ではキャンセルを減らすような仕掛け・取り組みを考える必要がある。
 - ii. 学会と開催校の関係を今後もよりよいものにするために、今後も企画提案・運営等を中心に協力関係を築いていく必要がある。
 - iii. 大会運営にあたって、特定の幹事・委員に過度な負担がかかっている。今後は負担をいかにして分担するかが課題になる。

あわせて、井上前会計担当幹事より、龍谷カルタイの会計報告が行われた。延べ参加者合計348名となり、カルタイ全体で黒字となった。

以上の提議について、下記の質疑がなされた。

- 若手会員向けの研究会の日程は、スケジュール表にもとづいて行うのか？
→スケジュール表はあくまでも暫定的なものであるため、柔軟に対応することが確認された。

- 若手会員向けの研究会に予算は計上されているのか？
→今年度の予算として3万円が計上されていることが確認された。
- 関西で第一回目の若手会員向け研究会を行う場合、報告者を公募するよりも、確実に報告者を確保するために、あらかじめ幹事会が院生・ポスドクに声をかけたほうがいいのでは？
→東京で行われた第一回研究会でも同様の手続きが取られた。関西で行う際にもそのようにする方が現実的でよいということが確認された。
- カルタイキャンセル問題については、デッドラインを厳格化するなどして技術的に統制するしかないのでは？これまではどのように対応してきたのか？
→これまではある程度参加者の善意にゆだねてきたが、今後は発表登録料を当日に支払う場合はプログラムに氏名を記載しないとといった対応を行うことも検討していくことが確認された。
- カルタイの会計の役割はどのようになっていたのか？
→原則、開催校実行委委員会に委ね、開催校から大会運営にあたって必要な経費等の申請があればその都度、会計担当幹事が対応を行うことが確認された。

(2) 第4期幹事会における担当幹事の分担確認

田中幹事より、今期幹事会の役割分担が下記のとおり確認された。

代表幹事：岩崎

編集委員会担当：有元

研究企画委員会担当：川端

大会委員会担当：辛島・村田・毛利

総務会計委員会担当：近藤・田中・藤田

(3) 年報カルチュラル・スタディーズ第7号の編集について

今期編集委員会の状況について有元幹事より報告された（田中幹事が代読）。

- 2018年8月に編集委員の体制が決定された。岡田・平田・光岡委員が前期から継続されることになった。今後、さらに2名追加される予定。
- 2018年11月30日に論文投稿を締めきり、以降は編集作業に取りかかる予定。
- 2019年度において論文のJstage掲載を実現する見込み。

以上の報告について下記の質疑がなされた。

- 余った学会誌の保管はどのように行われているのか？
→年報カルチュラル・スタディーズ第6号の残部は現在、学会事務局でもある田中幹事の大学研究室に保管している。次期幹事会では事務局の移転も考えられるため、その点も踏まえて学会誌の保管問題を議論していくことが確認された。

(4) カルタイ 2019 について

岩崎幹事より、カルタイ 2019（慶應義塾大学予定）について下記の報告がなされた。

- 現在、慶應義塾大学の塩原会員とともに、カルタイ 2019 開催にあたっての事務手続きを進めている。塩原会員から、大会開催が可能な教室およびその見積もりが提出された。教室確保数、大会運営にあたってのイメージを確認するために、次回幹事会を慶應義塾大学で行うべきだと思われる。
→塩原会員らのご都合が合うことを前提に、次回幹事会を慶應義塾大学で行うことが承認された。
- 会場確保のために、早めに次回カルタイの日程を決める必要がある。
→海外からの参加者の都合を考慮に入れつつ、慶應義塾大学側に日程候補を打診することが決定された。

(5) 新規入会希望者について

田中幹事より、新規入会希望者についての報告がなされた。

→新規入会希望者の入会が承認された。

(6) 会計の口座について

田中幹事より以下の報告がなされた。

- 今期より学会の会計担当幹事と大会の会計担当幹事が分かれる。その上で、会計口座を担当ごとに分けるかどうかを考える必要がある。
→口座をわけると、間違った口座に入金する人ができる可能性が高いため、現状はこのまままで対応していくことが確認された。

(7) 学会 HP について

- 田中幹事より、HP の情報が更新されていないため、今後は総務会計委員会が積極的に更新していくことが報告された。